

＼アウアー・チョイス!!／

Our Choice!!

選ばれてます。木城町！

木城町移住定住ガイドブック

Our Choice!!

木城町 まちづくり推進課

〒884-0101 宮崎県児湯郡木城町大字高城1227-1
TEL0983-32-4727 FAX0983-32-3440<http://www.town.kijo.lg.jp/>

E-mail:machi@town.kijo.lg.jp



発行日：平成29年3月

おいでよ、木城!!

緑と人と、穏やかな時間
ありのままを体感できるまち

木城町

宮崎県のほぼ中央に位置し、面積の84％は山林原野が占める緑豊かな木城町。明治22年町村施行により、高城町、高城村、椎木村、川原村、石河内村の1町4村が合併し木城村に、そして、昭和48年木城町へ。椎木の「木」と高城の「城」を組み合わせて「木城」としたのが、「木城」町の始まりです。

町の中央を流れ、日向灘へ注ぐ小丸川は、町内に4つの発電所を置くほど水量豊富な川です。その中流には川原自然公園があり、キャンプや川遊び、カヌー体験などアクティブに楽しめる人気のスポット。山間部には「木城えほんの郷」があり、山里の魅力を味わいながら絵本に親しむことができます。

かつて文豪・武者小路実篤とその同士が、石河内の川沿いの地に、理想郷を目指して「日向新しき村」を開村。6年の短い期間でしたが、農業に勤しみながら文筆活動を送りました。

ありのままの自然が色濃く残る、農山村のまち・木城町。町でとれるシイタケや柚子、梅、タケノコなどの農産品を使った加工品も、町民の温かさが伝わる素朴な味わいで喜ばれています。

実篤のように、この地の魅力に惹かれて来る移住者も少しずつですが増えていることはうれしい限りです。木城町はこれから、町内外との交流がますます深まるような情報発信を目指しています。

ACCESS



宮崎市内→木城町役場	約50分
宮崎空港→木城町役場	約1時間
高鍋駅→木城町役場	約18分
高鍋I.C→木城町役場	約5分
※宮崎西I.Cから高鍋I.Cまで約25分	



東京国際空港→宮崎空港	約1時間30分
大阪空港→宮崎空港	約1時間5分
福岡空港→宮崎空港	約45分



宮崎空港駅→高鍋駅	約40分
博多駅→高鍋駅	約5時間



神戸港→宮崎港	約13時間30分
※宮崎港から車で木城町まで約50分	

木城町 DATA

面積／145.96 km²
総人口／5,161人
(推計人口、2017年3月1日)

年平均気温17.2℃、平均湿度72%、降雨日数100日、降水量約2,400mmと多雨であり南海型気候区をなしているが、山地部は4月中旬まで晩霜を見ることがあり山地型気候区に属しています



選ばれてます！

平成27年国勢調査において人口増加↑

(前回調査から+54人の増、増減率+1.0%)

全国1719自治体で人口増加は303自治体(17.6%)

宮崎県26市町村中、人口増加は4市町村(15.4%)

過疎地域指定市町村797自治体中、

平成27年度国勢調査により

人口増加したのは、木城町を含む7市町村だけ！

7

797

全国「勢いのある街」ランキング・ベスト160 (ダイヤモンド社)

木城町101位

(全国1711市町村対象・宮崎県TOP)

国勢調査の人口増加数とその増加率を軸に街の勢いを探る。

特に、転入と転出の差を示した人数の比率「社会増加率」に着目し、人口流入の進地域を評価。

平成29年3月1日現在の木城町の人口5,161人



選ばれてます。木城町！！





Our Choice!!
私たちが木城を選んだ理由

幸運に呼び寄せられて

木城町の隣にある西都市出身の章仁さんと木城町と同じ児湯郡にある都農町出身の美穂さん。二人が木城町にやって来たきっかけは子どもの誕生でした。平成23年に結婚して西都市内に暮らしていた二人、今年5歳になる長女を授かり、二人暮らしのアパートでは手狭だということで新居を探すことに。ちょうどそのタイミングで、章仁さんが通勤していた木城町の町営住宅の抽選申し込みが行われていました。「新築の戸建てでオール電化、ひと目見て絶対ここに住みたいと思いました」と美穂さん。その思いが通じたのか見事に当選。「今思えば幸運が重なって(笑)」木城での生活が始まりました。

事業を通じて木城に恩返し

木城に移り住んで2年後の平成25年、二人はSASAKI FORESTRY という林業の会社を立ち上げます。「前職で10年間お世話になった木城に恩返しをしたいという思いもあって、このまちで独立することに決めました。起業するに当たって起業支援金もいただきましたし、設備投資等の補助を受けるのに工面してくれたり、起業を後押しするまちの支援が手厚いんですよ」と章仁さん。今では、20代を中心に8名の従業員を雇用するなど、事業は順調に推移しています。

「ほとんど何の情報も持たずに木城に引っ越したのですが、いろいろな場面で『このまちで良かった!』と思うことが多いんです。仕事面でも、子育て面でも。昔は木城に住むなんて考えてもみなかったんですけど、住めば都です」と声を合わせる二人。この春には新居も完成するなど、木城での暮らしを満喫しています。

北海道から木城へ

木の持つ魅力を最大限に活かした家具造りを行う『BIKITA Wood Life』。この工房を営んでいるのは、木城町出身の橋本聖志さんと北海道出身の水姫さん夫妻です。北海道剣淵町の家具工房で同時期に修行をしていたことが縁で結ばれた二人は、2013年に木城へ移住。二人の工房を開きます。

「主人は地元へのUターンだったので、まわりに友人や知り合いがたくさんいたのですが、私には知人が誰もいなかった。それで正直不安はありました。けれど、まわりの人たちが積極的に話しかけてくれたり、いろいろな人を紹介してくれたりと、とてもよくしてくれるんです。それがとても嬉しくて。おかげさまで、すぐに新しい環境になじめました」と、水姫さんは木城へ移住した当時のことを思い出します。

自然に囲まれて理想郷で作品造り

「北海道では隣家との距離が1km以上離れていたこともあり、近所づきあいがそこまでなかったのですが、木城には昔ながらの密着したご近所づきあいがあって、寂しくなるようなことがないんですよ」と水姫さん。子どもの頃から北海道の大自然で育ってきたこともあり、同じように自然が豊かな木城をとてにも気に入っているそうで、夫婦二人、大好きな家具造りをしながらの生活を満喫しています。

「これから先もずっと二人で作品を作り続けていきたいですね。ゆくゆくは、木城から海外にも売っていけるようなものを造っていききたいし、二人の出発点でもある北海道で展示会も開催したい」と声を合わせる二人。二人三脚で追いかける夢は、これから本番です。

Our Choice!! 02

二人三脚で追いつける夢



毎年、桜の季節に
展示会を
開催しています

橋本聖志さん (35)
〔木城町出身〕
水姫さん (27)
〔北海道出身〕

Our Choice!! 01

このまちに来て本当に良かった



もうどっぴり
木城人です。

佐々木章仁さん (37)
〔西都市出身〕
美穂さん (36)
〔都農町出身〕

[みどりのゆりかごの自然体験のワークショップ]

四季を通したコンサートや演劇、自然を活かした「里山虫むし合宿」「10才ひとり旅」等の体験（体感）事業は全国から参加者が集まっており、子供の自主性・創造性等を育む取組みは国内外から高く評価されています。特に IT 先進国の韓国からの視察が多く、ネット社会の問題が懸念されている昨今の状況において、子供たちの情操教育を実践する場としてモデルケースとされています。



10才のひとり旅 (夏・冬開催：年2回)

子どもたちが見知らぬ友と出会い新しい自分を発見する旅（家を出てから家に帰るまで1人旅が原則）。自然の中で川遊び、虫遊びなど五感全部を使った自然体感事業を実施。また、青年サポーターや友と一緒にワークショップを楽しみ、人に会って共鳴する楽しさを体験することを目的としています。



くらやみ探検隊 (2月：年1回)

自然の暗い闇の中を歩き、鹿やフクロウの鳴き声を聞きながら火を囲み、昔ばなしの朗読等、自然の暗闇でしか体験できない探索をすることで原初的な時間を五感で体験することを目的としています。



今森光彦 里山虫むし合宿 (8月：年1回)

今森光彦氏（写真家）を講師とし、小さな生命に適した環境づくりを続けながら、自然生命に触れる合宿を実施。蝶やトンボ、カブト虫、水に潜むゲンゴロウやマツモムシを追いかけてながら、踏みしめる大地の草木、小川の水、ノイバラのトゲなど自然の全てを五感で感じ、里山と人と植物たちのつながり、危険を察知する能力や体のバランス感覚を育むことを目的としています。



めだかと一緒にのお米作り (年1回)

春夏秋冬のめぐりの中で米作りを体験しながら自然体験・生活体験・芸術体験し、「米」という概念をこれらの体験を通して獲得していくことを目的としています。

3月／お花見狂言会、6月／お田植え落語会、田植え、7月／めだかの学校入学式、8月／田んぼの守り人、かかしアートづくり、10月／稲刈り、めだかといっしょにきく音楽会（収穫祭）、12月／もちつき



読み聞かせ事業

読み聞かせサポーターグループと連携し保育園・小中学校全クラスに年2回読み聞かせを実施。年齢、クラスの雰囲気に応じた選書をし、絵本を活かしたイメージ体験をすることが目的です。

ブックスタート事業

1歳半と3歳の健診時に、子どもの発達にあわせた絵本をプレゼントすることで、早い段階から絵本に親しむ環境をつくり、子どもの健やかな成長を育むことを目的としています。

森と絵本で広がる心の世界
「木城えほんの郷」が
創る世界で
子育てしてみませんか？



小丸川が流れる石河内の風景



森の木々をぬける風。木の温もりのある「えほん室」は心地よく、時を忘れそう



自然の中に心を遊ばせ、
絵本の世界を楽しむ
こころのふる郷

木城町は全体の約8割が森林で、その中ほどをゆったりと小丸川が巡っています。「木城えほんの郷」がある石河内地区は、この川の中流部、町の中心地からは峠を一つ越えた所であり、川や田園、里山に囲まれており、タチツボスミレ、キンポウゲ、カヤツリソウなど年間を通して希少な植物に恵まれ、野生動物や昆虫が豊富に生息する豊かな自然体系（みどりのゆりかご）を残す山里に位置しています。

「木城えほんの郷」はこれら自然の不思議や美しいものに驚く人間の感性（センスオブワンダー）を大切にし、この地の自然の中で絵本の世界に出会うことを願っています。そこではゆったりとしたひとかたまりの時間の中で豊かな自然に親しみながら、絵本の読み聞かせや自然を活かしたイメージ体験活動を実施し、「現代社会の中で人間の心と体をつくる途

上の子どもたちにどのように関わっていくべきか、大人たちもその原点に帰って、心も体も元気になる場所」を基本理念として事業を展開しています。

ありのままの自然と人の
出会いを楽しむ場所

そこには、国内外のえほんが並ぶ「森のえほん館（約2万冊）」を中心に、手作り遊びなどワークショップを実施する「森のきこり館」、演劇・コンサートを実施する「水のステージ」・「森の芝居小屋」、宿泊施設の「森のコテージ」など、みどりのゆりかごの自然と一体となった施設が美しい風景の中に点在しています。

事業の企画運営はトータルプランナーを中心に、絵本の読み聞かせ、絵本原画展の企画・蒐集、絵本大学、昔話大学の企画やみどりのゆりかごの自然体験のワークショップなどの活動を通して「木城えほんの郷」のトータルイメージを創り続けながら全国に文化を発信しています。

「Q&A」心配事を解決します

移住を検討する方々から役場にお寄せいただく、よくある質問にお答えします。

インターネットは使えますか？

町内全域光ファイバー網を整備していますので、平坦部はもちろん、山間部においてもインターネットが快適に利用できる環境が整っています。

食料品、日用品など、毎日の買い物に不都合はありませんか？

町内中心部には、食料品から日用品まで取り扱うスーパーが2軒コンビニエンスストアが1軒あります。また、車で10分圏内に大型衣料品店、ドラッグストア、書店等そろっています。

交通手段は？

車での移動が主なになります。公共交通機関はバス（町営バス、宮崎交通路線バス）があります。便数が少ないので自家用車は必須です。最寄りの駅は、車で約15分のJR高鍋駅となります。

住宅はありますか？

町営住宅、空き家バンク制度等があります。空き状況については、木城町役場「環境整備課」または「まちづくり推進課」までお問い合わせください。

保育園、学校は？

町内に保育園2ヶ所、公立の小学校1校、中学校1校があります。

どのような子育て支援が受けられますか？

す。高等学校は隣接する高鍋町や西都市（自転車、バイク通学）にあり、多種多様な高校がそろった宮崎市内（バス通学、または隣接町の駅から電車通学）へも十分に通学可能です。

どのような子育て支援が受けられますか？

出産御祝金、保育料の軽減措置、乳幼児・児童医療費の助成などの子育て世帯の経済的負担軽減のための支援のほか、乳幼児健診の際のブックスタート事業や学力向上サポートの配置など、子どもの健やかな成長のための支援が充実しています。

※空き状況のお問合せ先／町営住宅 ☎0983-32-4729（環境整備課）、空き家バンク ☎0983-32-4727（まちづくり推進課）

仕事も子育ても安心して両立

俊和さんは川南の病院に7年間勤務した後、地域医療に貢献したいと、平成27年4月に『訪問介護ステーションLife』を開業。利用者の自宅を訪問して、看護やリハビリを行っています。医療事務と経理を担当する彩さんは、毎日、想ちゃんと一緒に出勤しています。

「安心して共働きができるのは、安心して子どもを育てられる環境があるからです。子どもが大きくなるに連れて思うのですが、木城に住んで本当に良かったです」と思います。



「本当にのびのびと暮らせている」と夫婦で口を合

家族じゃないけど家族みたい

「小学校も中学校も近いので歩いて行けるし、保育園もある。子育てするのに何の不便もありません。保育料の軽減や、小中学校の給食費・修学旅行費の補助など、子育てに関する支援が充実しているの

です」と彩さん。

近所の人たちも子育てを手伝ってくれるのだそうです。「私たちは二人とも関東の出身なので、近くに身内がいないんです。一番下の想を出産したのが夜中だったんですが、その間、上の子たちを近所の人が預かってくれたんです。もちろん、ご近所さんは家族じゃないんですけど、家族みたいなつながりがあるんですよ。物騒なことが多いご時世ですけど、ここでは、安心して子どもを育てられますね」



川名さんファミリー／川名 俊和さん（33）、彩さん（33）、織ちゃん（7）、燦ちゃん（5）、慧ちゃん（3）、想ちゃん（6カ月）

木城で便利に豊かな暮らし!!

子育て世代が選ぶワケ

近隣の市町村からも移り住む子育て世代が多いという木城町。その理由を探りに、6年前に木城町に移り住んだという川名さん一家を訪ねました。

川名さん一家は、小学校1年生から生後6カ月まで4人の女の子がいる賑やかな大所帯。子どもたちの笑い声が絶えません。

木城町内で『訪問介護ステーションLife』を営む父親の俊和さんは埼玉県の出身。もともと宮崎県に縁もゆかりもなかったのですが、理学療法士を目指して通っていた学校の実習先が、たまたま隣町・川南町の病院だったのだそうです。「患者さんや町の人と接するにつれ、宮崎の人の温かさが染みるようになりました」と、そのまま川南の病院に就職。東京出身で同じく宮崎に縁のなかった彩さんと二人、宮崎での生活を始めました。

「宮崎に来て2年間は隣町に住んでいたのですが、織も生まれ、宮崎に定住することになり、引っ越しをすることにしました。それでいろいろな場所を見て回ったのですが、ここを通りかかったとき、景色に一目惚れしたんです。木城町は子育て支援に力を入れているというのでも聞いていま

子育てをしながら宮崎市内へ通勤

8年前に隣町から夫婦で木城にやって来た由香さん。4年前に新築した自宅に、ご主人と小学2年生の長男、そして保育園に通う5歳の次男と暮らしています。そんな由香さん、30kmほど離れた宮崎市で保険会社に勤務しています。「木城から会社がある宮崎市街まで1時間弱で行けるんですよ。自然に囲まれてのびのびと生活できる木城に住みながら、都市部で好きな仕事ができるのだから恵まれています。子育てにも最高の環境ですよ」。仕事も家庭も充実した日々を送っているそうです。



河野由香さん



育児相談
子育てに不安はつきもの。専門的なことは各機関を紹介します。
【月～金】9:00～17:00
(電話・来所・訪問)

出前おやこ広場
木城ふるさとまつり等の行事に参加し、親子のふれあいの場を提供します。
【年2回程度】

のびのび広場
保育園の子どもたちと遊んだりおもちゃや遊具で遊んだりします。
【月～金】9:00～12:00
13:00～16:00

ちよきちよきクラブ
手作りおもちゃなどを作ってお母さん達が楽しめます。
【月1回】11:00～12:00

わんぱく広場
親子で楽しく遊ぼう！親子ふれあいタイム
【月1回】11:00～12:00

親子で気軽に遊びに来ることができ
子育ての広場です。

「ぽけっと」 木城町地域子育て支援センター

木城町地域子育て支援センター「ぽけっと」

◎対象者／就学前の乳幼児とその保護者
◎センター利用日／毎週月曜日～金曜日
【室内利用時間】午前9:00～12:00、午後1:00～4:00 【園庭解放時間】午前9:00～午後5:00
木城町大字椎木4246(木城町めばえ保育園内) ☎0983-32-2522

安心して子育てができる環境だと思います。一緒に楽しんで子育てしましょう！



めばえ保育園
大津文香さん



どんぐり保育園

定員：70名
対象年齢：6ヶ月以上就学前まで
木城町大字高城3683-1
☎0983-32-2146



木城町めばえ保育園

定員：120名
対象年齢：1歳以上就学前まで
木城町大字椎木4246番地
☎0983-32-2522

町内には保育園が2ヶ所あり、参観日に子ども達が親にお茶をたてたり、鼓笛隊をして毎年町の祭りや披露したりと、それぞれ特色ある体験活動を行っています。
町内在住の園児は保育料軽減措置があります。(※詳細はP14)



木城野球スポーツ少年団

野球楽しい！君もおいでよ！

大好きな野球で、心も体も大きくなあれ！！



木城野球スポーツ
少年団監督
谷岡 潔さん

目的は『人間形成』。野球を通して、社会に通用する人間に育てたいですね。指導者も保護者も、子ども同様にいろんなことを学べる場。みんなですべてを学んでいきましょう！

「よろしくおねがいします！」と、帽子を脱いで一礼。子どもたちは元気なあいさつでグラウンドに入ります。小学校に隣接する木城町総合運動場が、「木城野球スポーツ少年団」のメイン練習場。平日の練習はもちろん、この整った施設のおかげで、週末は他チームとの練習試合会場になることもしばしばだとか。
1975年に創部、現在小学校1～6年生の男女27名が所属(平成29年1月現在。人口約5100人の小さな町の少年団ですが、毎年のように県大会へ出場しています。「みんな野球できるのが楽しい！目標は全国大会優勝です」と目を輝かせて話してくれたのは、新キャプテンの中武祐晴くん(現5年生/10才)。
練習中も上級生が下級生をしっかりと世話するのがいつもの風景。野球だけでなく、子育てにとってもいい環境ですね。

夢は大きく将来はクラブ出身のプロ選手や代表選手を！

木城ドリームス

毎月第1・3金曜日の放課後、木城小学校の体育館に子どもたちの歓声が響きます。行われているのは総合型地域スポーツクラブ『木城ドリームス』の小学生を対象とした運動教室。マットやバランスボールを取り入れた鬼ごっこやラグビーボールでキャッチボールなど、ゲーム感覚で体の動かし方の基本を身に付けます。「みんなで応援し合って、みんなでできるよう工夫しています」とコーチの河埜賢二さん。まるで兄弟姉妹のように、和気あいあいと運動にチャレンジする子ども達の目はきらりと輝いています。



この教室を通じて、自分に合ったスポーツを見つけてもらえればうれしいです！

木城ドリームス コーチ
河埜賢二さん



ちょっと車で足をのばしてGO！ 木城町のおすすめ郊外スポット

川原自然公園



県内でも数少ない、常時カヌー体験ができます。屋内ボルダリング施設や、マウンテンバイクの常設コースなども整備されており、自然を満喫しながらアウトドアスポーツが体験できます。

中八重緑地公園・ピノックQパーク



大型トランポリン「ふわふわドーム」や、コンビネーション遊具もあり、子供から大人まで楽しむことができます。隣接するピノックQパークでは、小丸川発電所見学ツアーを実施しています。

木城温泉館湯らら



木城の美しい空気と緑、そしてお湯がゆっくりとあなたの心と体をほぐします。やわらかいお湯とくつろぎの時間を楽しんでいただきたい。そんな気持ちから生まれた温泉です。



明るく広々とした図書室もある 木城の文化交流の場

木城町総合交流センター リバリス

客席319席、間口16mのステージを備えたホールを中心に、大小3つの会議室や和室、資料展示室がある文化交流の拠点施設。明るく広々とした図書室もあり、静かに読書を楽しめる。本はもちろん、CDやDVDの貸出しもあり。



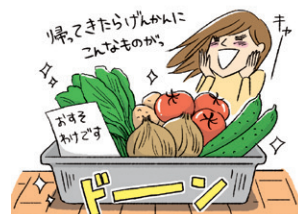
新鮮な野菜、手作り加工品など 木城のうまいものにぎわう直売所

農産物直売所 菜っ葉屋

役場から北へ車で3分、「木城温泉館湯らら」に併設された農産物の直売所。採れたて、作りたての野菜や果物、加工品がずらりと並び、季節によって味が変わるソフトクリームもあるので、温泉帰りに至福のひとつを味わって。

家庭菜園は当たり前!?

広々とした敷地が多い木城町の住宅。家庭菜園がある家は珍しくない。農家も多いため、旬のお野菜のおすそ分けをいただくこともよくあります。



木城町って意外と近くて便利なまちなんです!!



お買い得な野菜、鮮度のいい魚が評判!

スーパーやまだ

小売りから卸しまで、町民の食卓を支える老舗スーパー。野菜や魚は安くて新鮮で、町外の人も買いに来るとか。先代より味を受け継ぐ「唐揚げ」は長年の人気商品。8～20時営業。



長年人気の「唐揚げ」



家庭的な味の手作り 惣菜コーナーが充実

スーパーウチャマダ

昭和46年創業、生鮮品から日用品までそろう店。惣菜コーナーが充実し、野菜入りで酸味が効いたオリジナルソースの「チキン南蛮」が人気。9～20時営業。



タルタルソースも
あります



わざわざでも来たい! 木城のケーキ屋さん



Patisserie Komado (パティスリー コマド)

コマドと言えば、「イチゴロール」(1,404円)。軽い口当たりの生クリームと生地が絶妙コンビ! その他種類豊富な洋菓子が詰まったおしゃれな店内は、カフェスペースもあり休憩OK。火曜日定休。

のんびりとアットホームなこの空間に流れる、心豊かな家族の時間。ぜひ味わってみませんか。

小さな商店街を歩いてみると、子どもたちの大きな声のあいさつに元気をもらい、マンホールのアオバトにほっこり。自然の移り変わりを肌で感じつつ、ゆったりとした気分で過ごせそうです。

日々の暮らしに寄り添う
のんびり、ほんわか
木城の「まち」

おタリ

教育環境



木城小学校



木城中学校



高鍋高等学校
木城町役場から車で15分



高鍋農業高等学校
木城町役場から車で15分

医療環境



木城クリニック
木城町／木城町役場から車で5分



海老原総合病院
高鍋町／木城町役場から車で7分



西都児湯医療センター
西都市／木城町役場から車で20分



河野産婦人科医院
高鍋町／木城町役場から車で15分

小児科
隣接町／6件

歯科診療所
木城町／2件

木城町には充実した支援制度があります。

定住促進奨励金制度

転入奨励金

□奨励金内容及び対象
家族での転入

□金額
30万円

- ①世帯の代表者が16歳以上50歳未満の家族で継続して木城町に定住する意志があること
- ②転入した家族の中に公務員がいないこと
- ③世帯の代表者が就業しており、住居が町営の住宅でないこと
- ④住宅取得奨励金受給者は対象外

住宅取得奨励金

□奨励金内容及び対象
新築取得の場合

□金額
町内建築業者を元請とした場合、
建築費用の20％以内
上限200万円
町外建築業者を元請とした場合、
建築費用の10％以内
上限100万円

□奨励金内容及び対象
購入取得の場合

□金額
購入費用の10％以内
上限80万円

- ①賃貸向け、営業売買目的ではなく、個人住宅として取得し、居住用としての機能を有していること
- ②現に町内において、維持管理を行っている住宅を所有していないこと
- ③現に町内において、住宅の増築、改築、建替え又は買換えをしようとする者でないこと
- ④住宅の移転補助又は移転補償の対象となった住宅の代替えとして住宅の取得をしようとする者でないこと
- ⑤平成30年3月31日までに取得した住宅に入居し、かつ、居住地の属する自治公民館への加入に同意する者に限る
- ⑥転入奨励金受給者については、転入奨励金受給額を減じる

共通条件

- ①生活保護等の措置を講じられていないこと
- ②税、使用料等の滞納をしていないこと

出産祝金

□第2子出産祝金
10万円
□第3子以降出産祝金
20万円

就学祝金

□第2子以降就学祝金
10万円

商工業起業奨励金

□新規起業準備助成金
準備費用の10％以内
上限50万円
①新規で起業した者
②本町に定住する意志があり、木城町商工会の会員となり、青色申告をすること
③法人の場合は、法人登記すること
④事業所を構えること

木城町空き家情報バンク制度

町内の空き家情報の登録、提供。利用登録していただいた方へ、空き家情報が入り次第、その都度ご案内。

空き家をお探しの方へ

空き家情報バンクの利用登録を
ご利用ください

木城町では、定住希望者の方へ空き家情報バンクを開設し、情報の提供を行っています。掲載情報にご希望の物件があった方、また、今後空き家情報バンクの物件の利用をお考えの方は、利用登録が必要となりますので、木城町役場まちづくり推進課までお問い合わせください。

空き家情報バンク
http://www.kijo.jp/matidukuri-suisin/akiyabank_2.html

◎まちづくり推進課 ☎0983-32-4727



生活支援制度

暮らし

木城町インターネットサービス

木城町内全域に光ファイバを敷設。

子育て

保育料軽減

町内在住の園児の保育料の軽減措置。
3歳未満は上限30,000円、3歳以上は上限23,000円
在園児、第2子は半額、第3子以降は無料。

乳幼児及び児童医療費助成事業

【外来・入院】
未就学児／自己負担なし
小中高生／1診療報酬明細書ごとに800円
【調剤】
自己負担なし

妊婦歯科検診等助成事業
乳歯むし歯予防事業

妊婦の歯科健診・治療費の助成（1万円上限）
就学前の幼児を対象にフッ素塗布助成券（無料券）を年2回配布。

任意予防接種助成事業

乳幼児を対象に、ロタウイルス・おたふくかぜの予防接種料金の一部助成。
また、季節性インフルエンザ予防接種料金の一部を乳幼児、小中学生、妊婦、高齢者を対象に助成。

不妊治療助成事業

夫婦又は一方（婚姻届を出している事）が木城町に1年以上住民登録している方に、不妊治療費用の一部を助成。

一般不妊治療助成

一般不妊治療にかかった費用の2分の1を助成。助成期間は、2年間で年間の上限10万円。

特定不妊治療助成

国・県の特定不妊治療助成金の給付を受けた方に、上乗せ助成。特定不妊治療1回あたり上限15万円、男性不妊治療は、1回あたり上限5万円。

学力向上サポーター

小・中学校に学力向上サポーター教員を配置し、習熟度に応じた授業を実施。

子育て

小・中学校修学旅行補助金

修学旅行費の交通費を一部助成。

小・中学校給食費補助金

児童生徒の給食費の一部を助成（児童生徒1人につき月額2,000円助成）
小学校1ヶ月4,200円 → 1ヶ月2,200円
中学校1ヶ月4,700円 → 1ヶ月2,700円

高齢者福祉

外出支援サービス事業

概ね65歳以上の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方を対象に、医療機関への送迎を行う。

寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

高齢者のみの世帯、心身の障がい及び傷病等により寝具の衛生管理が困難な方を対象に、寝具の水洗い及び乾燥消毒サービスを行う。（自己負担：1回につき600円）

在宅介護用品（紙おむつ）給付

在宅の要介護高齢者又は認知症等で常時おむつを使用している方に紙おむつ月1袋又は尿とりパット60枚を給付。

配食サービス事業

病気や障がい、寝たきりなどの理由で、食事を作ることが困難な方に、週5日（月～金）昼食を届け、高齢者の安否確認を行う。（自己負担あり）

愛の牛乳給食支給事業

ひとり暮らし高齢者で、日常生活の安否確認を必要とする方に牛乳を支給。（月15本）

要介護高齢者等介護手当

常時介護を要する高齢者を6ヶ月以上介護されている町内居住の方に支給。
月額：10,000円～30,000円

高齢者福祉

敬老祝金支給

長寿を祝福し、9月15日現在で引き続き1年以上町内に居られている高齢者に支給。

はり・きゅう・マツサージ
施術費の一部助成

住民の健康保持増進を図るため、はり・きゅう・マツサージ施術費の一部を助成。
助成額：1回につき500円 1ヶ月4回まで

高齢者等安心・安全生活
サポート事業

ひとり暮らし高齢者等に対し、通信サポートセンターを通して、日常生活全般に関する相談業務及び緊急時の通報等を24時間365日体制で実施。

木城温泉館湯らら入浴料
助成事業

町内在住の65歳以上の方又は障がい者手帳をお持ちの方に対し、木城温泉館湯ららの入浴料を一部助成。（限度回数50回／年）
助成額：1回あたり200円（年間50回）

生きがい活動支援通所事業

介護認定を受けていない高齢者を対象として、簡単な体操やレクリエーションを行いながら他的高齢者と交流を図り、孤独感の解消及び介護予防を目的とする。

軽度生活援助サービス

住居の清掃や食事及び食材の確保等、簡易な日常生活の援助を行い、在宅での自立した生活を支援する。

認知症高齢者グループホーム
利用者負担助成事業

町内の認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に入居されている方に対し、入居食費の一部を助成する。

家族介護者交流事業

高齢者等を在宅で介護している家族に対し、介護者相互の研修、交流会等を開催し、介護者の身体的・精神的な負担の軽減を図る。